

シーボン 「紺綬褒章」を受章

株式会社シーボン(本社:東京都港区、代表取締役社長:崎山一弘、証券コード:4926)は、地方創生応援税制である企業版ふるさと納税を活用し、絵画2点(評価額6,000万円相当)を生産・研究開発の拠点を置く栃木県へ寄贈しており、このたび紺綬褒章を受章いたしました。受章に伴い、2026年6月10日に栃木県庁にて伝達式が行われました。



写真左:代表取締役社長 執行役員 崎山一弘 写真右:栃木県 知事 福田富一様

■ 受章背景

令和6年度寄贈作品

東郷青児

右:《憩い》
カンヴァス、油彩
1973年、350×180cm

下:《浮遊する3人の女性》
カンヴァス、油彩
1969年、184×437cm



©Sompo Museum of Art, 24036

シーボンは、栃木県上三川町に生産センター、研究開発センターの2拠点を置いています。

長年お世話になっている栃木県で多くの方に見ていただきたいという思いから、寄贈の運びとなりました。

寄贈した絵画は、洋画家・東郷青児の作品。

1968年の栃木県上三川町に設立した工場落成記念で制作された「浮遊する3人の女性」と、1973年の六本木本社落成を記念して制作された「憩い」の2点です。

修復作業後、栃木県立美術館の新たな目玉の一つとして、2026年度中に公開される予定です。

シーボンは、今後も社会・地域に貢献し、共に発展していくことを目指してまいります。

■ 紺綬褒章について

公益のために私財(個人は500万円以上、団体は1,000万円以上)を寄附した者に授与される褒章で、各府省等の推薦に基づき審査の上、授与されます。国、地方公共団体、または認定された公益団体への寄附が授与の対象となります。

内閣勲章・褒章制度の概要 : <https://www8.cao.go.jp/shokun/seidogaiyo.html#hosho>

■ シーボンについて

シーボンは、1966年の創業以来約60年に渡り、研究・開発、製造、販売までを一貫して行う日本の化粧品メーカーです。全国95舗(会員制/直営92店舗、代理店3店舗)のサロンを通して、化粧品販売とアフターサービスを提供しています。

毎日の正しいスキンケアと、サロンでの定期的な肌カウンセリング & フェイシャルトリートメント。この繰り返しで、日々変化する素肌を健やかに育む。これが永年培ってきたシーボン独自のビューティ・プログラムです。シーボンは、唯一無二のビューティ・プログラムで、美肌を適えるブランドとしてこれからも展開してまいります。

【シーボン公式ホームページ】 <https://www.cbon.co.jp/net/>

【シーボン ビューティージャーナル配信中】 <https://www.cbon.co.jp/journal/interview/>

＜掲載に関する問い合わせ＞

PR担当 藤沢・小林

Mail : pr@cbon.co.jp